

秋田県困難な問題を抱える女性への支援等に関する基本計画 第1回策定委員会
議事要旨

1 開催日時

令和6年3月19日（火）14:00～16:05

2 開催場所

秋田県総合庁舎 総502・503会議室

3 議事 ※○委員 ●事務局

(1) 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律及び基本計画について

(2) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画について

(3) 「(1)」及び「(2)」の基本計画を一体的に策定することについて

○他県において、DVや男女共同参画に関する県民意識調査が実施されていた。本県は同様の調査を実施しているか。

●本県の県民意識調査における該当項目の有無や、他県の調査結果については、確認した上で、次回策定委員会で報告したい。

○経済的困窮などによる課題と、DVによる被害については、背景等が大きく異なる。2つの計画を一括で策定するとしても、違いをしっかりと意識した上で、要因の検証等を行って欲しい。

○策定された計画に基づき、多くの部分で女性相談所が支援を実施していくことになる。女性相談所の人員規模、予算規模を教えて欲しい。

●女性相談所には、所長の他、ケースワーカー、臨床心理士、保育士、看護師など17名が配置されている。取扱う内容がデリケートであり、男性職員は1名のみである。また、女性相談員を、秋田市など全県に10名が配置されている。なお、女性相談所に関する経常経費や政策経費の状況については、次回策定委員会で説明させていただく。

○県議会福祉環境委員会に計画案等を報告する旨の説明があったが、当該委員会に報告する理由は何か。

●9月、12月議会など、それぞれのタイミングで計画の骨子等を説明することになる。なお、福祉環境委員会で示された意見については、策定委員会に報告、説明しながら計画に反映させていくことになる。

○市町村担当者向けの研修は参加者が少ないと聞いている。職場を空けることが難しい場合もあるため、オンライン方式により一定期間に集中して受けてもらうほか、簡単な振り返りができるよう取り組んでみてはどうか。

○女性が困難な状態になることは、経済的な問題や暴力問題だけではなく、もっと根底的なジェンダー問題や社会的背景がある。

○母子生活支援施設は、DVのほか、経済的困窮、子育てが不適切という母子家庭を受け入れ、自立支援を行っている。困っている家庭に支援が行き届かない場合があるほか、

母子生活支援施設はDVでないと入所できないと誤って認識されている場合が多い。県には、市町村の理解を深めるための取組をお願いしたい。

- 計画策定過程における状況確認や、策定後の説明等により、市町村の職員が理解を深めることになると認識している。
- 母子生活支援施設に入所していた女性が、精神疾患を患い大変な状況となった際に、様々な機関が連携して、女性の受診や子どもの児童相談所への通告に結びつける等の対応をしたことがあった。多くの機関で対応したことで、よりよい状況につながったと認識している。

(4) 女性相談と一時保護の現状について

- 警察は被害者の安全を図らなければならないが、相談に来る方の中には、「ただ知ってほしい」、「穏便に注意してほしい。」と希望する場合も多く、被害を100%防止することができない場合もある。そのような際に紹介できる避難可能な施設等について、情報提供していただくと助かる。
- 今回の資料には、民間シェルターに関する記載がない。官民一体ということで計画を策定するという趣旨からも計画には記載が必要である。
- 以前実施した民間シェルターに関する調査については、次回策定委員会で資料として示したい。
- 県内11か所のハローワークでは、求職者に対する担当者制の個別支援を実施している。求職者のニーズを把握し、必要に応じて職業能力開発や職業訓練等の再就職支援を実施している。
- スマホで居場所を特定しストーカー行為に及ぶ場合や、ネットで誹謗中傷や性的な画面を送って脅迫する事件も増えている。ネットを利用したつきまといや精神的な暴力は、女性だけでなく、男性も追い詰められていることもあると思う。県独自の対策は難しいかもしれないが、何らかの形でこの計画の中に盛り込めると、実践的な計画になるのではないかと。
- DVを許さない、認めない社会にすることは、計画の目的のひとつである。どのような形で計画に盛り込めるか検討していく。

(5) その他（意見交換など）

- 一番困難さを感じているのは、パートナーのいない30～50歳代の単身女性ではないかと思う。非正規雇用等により、経済的に困窮している場合が多い。子育て世帯への支援は増えているが、単身世帯への経済的な支援は少ない。
- 女性は男性の6割程度しか所得が無いと言われている。
- 他部局において、少子化対策や若者支援に関わる部署もある。今後、他課の取組を説明する中で、今の意見に関連するようなことも紹介していきたい。